

## ○【中瀬パークトーク2026】第1回市民ワークショップ 実施報告

### 1 日時・場所

令和8年5月31日（日）午前10時から正午まで  
かわまち交流センター（かわべい） 市民交流ホール

### 2 目的

中瀬公園の将来の利活用や管理運営のあり方を検討するため、市民の皆さんから幅広く意見を伺うことを目的に開催しました。

### 3 内容

- (1) 中瀬公園におけるこれまでの取組の紹介
- (2) グループ別ワークショップ
  - ・中瀬地区に対する思いやイメージ
  - ・中瀬公園に期待することや将来像（夢や希望）

### 4 参加者

16名

### 5 状況写真



## 6 ワークショップ結果概要

全てのグループで、中瀬公園は景観や水辺、空間の余白など大きな魅力と可能性を持つ一方、その魅力が十分に活かされていないとの認識が共有され、水辺環境の活用や柔軟な運用の必要性についても共通した意見が見られました。

グループ1では、景観や空間の魅力を活かしながら、日常利用の促進や自由度の高い運用を重視し、地域住民主体による活用の方向性が示されました。

グループ2では、中瀬公園の象徴性や観光・交流拠点としての可能性を重視し、歴史の継承と多機能でテーマ性のある空間づくりの方向性が示されました。

グループ3では、中瀬公園を思い出や体験を育む場として捉え、遊びやイベントによる賑わいの創出と、滞在性・体験性の向上を重視する方向性が示されました。

これらの意見を踏まえ、今後の中瀬公園は、日常利用・観光・体験の各機能をバランスよく取り入れながら、市民や民間事業者とともに段階的な活用を進めていくことが重要です。

また、過度な整備を行うのではなく、柔軟に活用できる「余白」を残すことが、中瀬らしい魅力の創出につながると考えています。

## 7 ワークショップにおける意見や感想

### (1) ワークショップについて

- ・楽しく有意義な意見交換の場となった
- ・継続的な対話の機会を望む意見があった
- ・市民意見を反映した運営を求める意見があった

### (2) 公園へのアイデア

- ・中瀬の歴史や文化を活かした空間づくり
- ・木陰や水辺、景観を活かした快適な環境整備
- ・散策や運動、イベントなど多様な活動ができる機能の充実
- ・市民活動と連携した賑わいづくり

### (3) 今後取り組みたいこと

- ・歴史や地域資源を活かしたイベントへの参加・協力
- ・コンポストなど環境活動をはじめとする市民主体の取組への参画

## 8 今後

令和8年6月27日(土)に第2回ワークショップを実施予定